



高P連だより

編集・発行 第76号
愛知県公立高等学校PTA連合会
 事務局 名古屋市中区新栄一丁目49番地10号
 愛知県教育会館6階
 TEL<052>261-5886
 URL <http://aichikoupren.org>
 E-mail info@aichikoupren.org
 印刷 手島印刷株式会社
 TEL<052>522-1635



愛知県知事 神田 真 秋

PTAの皆さまへ

愛知県公立高等学校PTA連合会の皆さまには、日頃から本県の教育活動に格別のお力添えを賜り、心よりお礼申し上げます。

また、本年度「あいちトリエンナーレ2010」、「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」という国際的行事を本県で開催できましたことは、貴連合会を始め多くの皆さまの御理解と御支援の賜物であると感謝いたしております。

次代を担う青少年が、愛知で世界最先端の現代アートを体感できたこと、また、一九三の国と地域から八千人を超える人々が愛知に集う国際会議を目の当たりにするとともに、生物多様性や環境に対する意識を高めることができたことは、世界に視野を広げる大きな契機になったのではないかと思つ

ております。

一方、本年三月に、青少年育成の行動指針として「あいち子ども・若者育成計画2010」を策定しました。この計画では、子ども・若者の自立をはぐくみ、共に育ちあう社会をめざし、今までの計画の基本理念を継承しつつ、新たに、いじめ、不登校などの「困難を抱える子ども・若者の支援」を施策の柱の一つに位置づけています。

計画に掲げました施策を着実に推進していくためには、これまで以上に家庭と学校、そして地域の連携が重要となります。会員の皆さま方には、これからも青少年の健全な育成と、青少年が夢と希望を持てる豊かな地域社会づくりを、一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページを更新しました。ご覧下さい。

愛知県公立高等学校PTA連合会
副会長 榎 本 実



今年度、愛知県公立高等学校PTA連合会副会長を務めさせていただいていた日頃は、県高P連活動に御協力いただき、ありがとうございます。

副会長として、各種の委員会に属し、様々な会議に出席させていただいております。その一つが「広報委員会」です。広報委員会の役割は、主に年3回発行される『高P連だより』の編集発行となります。役員は、県内5地区（名瀬、尾張、知多、西三、東三）から選出されています。

ところで私たち、高校生を持つ親にとつて学校での教育内容は、大変関心のあるところであります。各学校におきましては、学校単位の『PTAだより』が配布されています。その一端を知ることができ、そういう意味では、県全体で発行されているこの『高P連だより』は、県全体の流れを知るために大変価値のあるものと

思っています。今後も皆様方の参考となる『高P連だより』の発行を心掛けたと思います。

また、第1回の広報委員会では、昨年度から検討されてきました県高P連のホームページの更新について引き続き協議し、後日の理事會にて決定いたしました。『子どもたちの未来のために、家庭と学校と地域をつなぐ』をテーマとして、平成22年8月25日に全面更新しました。

トップページのデザインとカラーイメージについては、あいちのシンボルとしての県の花「かきつばた」と紫色を選定しました。画像として、尾張地区より「国宝犬山城」を、三河地区より「無量寿寺のかきつばた」を取り入れ、愛知県をイメージしました。中央には、両手でグリーンを支えるというイメージ画像を入れ、これによって子どもたちを見守るやさしさを表現しました。また、見る人が欲しい情報があり、見やすくかつ維持しやすいホームページとなるようにしました。

加えて、最新の情報を随時に提供ができるよう、必要に応じて更新することを考えています。会員の皆様方の一人でも多くの方にご覧いただければと思っております。是非ホームページをご覧ください。

名瀬地区

全国高等学校PTA連合会
東京大会に参加して

愛知県立明和高等学校
PTA会長 石原真二



全国から約一万二千名が集った第60回全国高等学校PTA連合会東京大会に参加してき

ました。メインテーマは、「人間力を育てて作ろう 大きな輪」サブテーマは、「〜家庭・学校・地域・社会 心と心をつなげよう〜」でした。私は、大会第2日目しか参加できませんでした。会場の武道館では、地元高校生が和太鼓の演奏等で暖かく迎えてくれました。記念講演では、京都大学大学院准教授木原雅子先生が近年子どもたちに欠落がちな忍耐力・気力・人間力の涵養について、子どもたちの悩みや社会の歪みの分析に基づいてお話いただき、大変有益なアドバイスをいただきました。閉会式では、大会実行委員長が声高らかに大会宣言を宣言し、来年度開催地の北海道大会実行委員長に熱い思いのこもったPTA連合会旗が引き継がれ大会は終了いたしました。



知多地区

全国高等学校PTA連合会
東京大会に参加して

愛知県立東海南高等学校
PTA会長 小笠原尚一



初日の日本武道館には、約一万二千名の参加者があり、式典・アトラクション・基調講演

演・分科会が行われました。こんなにも多くの先生や保護者の方々が、高校生の成長を応援し見守っていることに大変うれしく思いました。アトラクションでは、有名アーティストも夢見る武道館で演奏した高校生たちが、感激と感無量の涙を流し、彼らのピュアな心の震えが伝わるステージに皆が感動しました。トヨタ自動車会長の張 富士夫氏による基調講演では、「今の新社会人の長所・短所、企業が求める有為な人材」というテーマで、日米における社員教育の違いなど自身の体験に基づいた話や、企業が求める人材は、「勉強だけでなく行動力のある人、人と協力関係が築ける人である」など有為な話を聞くことができました。なお、今大会では、子どもたちに求められる「生きる力」、「柔軟性」、「それを支える「人間力」を、家庭・学校・地域が連携する中で育んでいくという趣旨の大会宣言がなされました。

尾張地区

東海地区高等学校PTA連合会
愛知大会に参加して

愛知県立小牧南高等学校
PTA会長 鍛冶屋 勉



東海大会に参加しました。講演会の講師は宗次徳二氏。カレーハウス

CoCo壱番屋の創業で、多額の私財を投じ、社会貢献活動をされていることもあり、興味深く聞くことができました。演題は「仕事に人生を捧げる」。自らの生い立ちや、今取組んでいるボランティア活動の紹介など、ユーモアたっぷりなお話でした。引退した今も毎朝4時過ぎには起きて、栄の広小路通りの清掃や花植えをされているそうです。また、3歳まで児童養護施設で過ごし、養父母に育てられたのですが、その後、食事すらままならない極貧生活も経験されたそうです。こうした辛い境遇にもかかわらず、「人間に生まれたこと、この日本に生まれたこと、とても感謝し、辛いと思ったことはない」、「逆境が楽天的で前向きな性格を培った」との言葉がとても印象的でした。今はずいぶん恵まれた世の中ですが、宗次氏の人生に向き合うパワーに圧倒された講演会でした。

西三地区

東海地区高等学校PTA連合会
愛知大会に参加して

愛知県立豊田高等学校
PTA会長 岡部 敏和



6月18日名古屋市公会堂で行なわれた大会に参加してきました。当日は小雨にもかかわらず、多くの参加者で盛況に開催されました。前半の講演は、CoCo壱番屋創業者の宗次徳二氏の「仕事に人生を捧げる」という演題で、ご自身の生い立ちから会社創業、そして社業から身を引くまでのお話を、ユーモアを交え熱くご講演して頂きました。また、早起きの大切さにも言及され、現在では中日ビルから宗次ホールに続く広小路通の花壇は、宗次氏が毎日、早朝に手入れを行なっているそうです。

後半の研究協議会では、豊橋商業高等学校と桑名高等学校の発表がありました。その中で特に印象深かったのは、豊橋商業高等学校の生徒を、地域の方々が温かく見守り支えていることです。地域の教育力が希薄になりつつある今、とてもうらやましく感じたのと同じ時に、これからのPTA活動にも生かしていきたいと思いました。

学校紹介

愛知県立豊田高等学校 P T A



豊田高等学校 校舎

本校は、昭和五十八年に開校され、二年後には創立三十周年を迎える普通科高校です。生徒は清楚な身だしなみと挨拶をしっかりとすることを心がけ、「地域を支える強い志」をもって学んでいます。さらに、全クラスが遅刻ゼロを目標に日々努力し、遅刻の数は年々減少しています。

また、読書タイムや学校を挙げてボランティア活動に取り組んでいることは本校の特色の一つです。そして昨年度ボランティア活動に参加した生徒は延べ約三千人を数えました。豊高フェスティバルに養護学校の生徒を招待したり、老人福祉施設での演奏会や茶会、国際交流会など多くの活動を行っています。部活動では、バスケットボール

部、ソフトテニス部、陸上部、水泳部、バドミントン部、サッカー部等が県大会出場を果たし、特に弓道部は沖縄美ら海総体に出場するなど、どの部も積極的に取り組み、成果を上げています。

P T A は、総会、大学見学会、各種研修会、花の苗の植え付け、合同街頭巡視活動などの事業を展開しています。特色ある P T A 活動として、朝の通学路清掃と花の苗の植え付けがあります。通学路清掃は、年三回、保護者と生徒と教職員が協力し合って数百人で通学路の清掃を行い、学校周辺の美化活動に協力しています。また、花の苗の植え付けは、年二回、プランターに苗を植え付け、学習環境の改善に役立てたり、名鉄上豊田駅周辺へ苗や球根を植え付けたりにしています。

本校は校訓「誠実、自主、創造」のもと、「豊かな人間性を備え、地域に愛される豊高生」の育成を目指しています。P T A としても生徒の心身共に健全な成長を願い、できる限りの支援をしていきたいと思えます。



花の苗の植え付け

青少年の自立と大人の役割

愛知県教育委員会 生涯学習課

高校時代は大人への準備期間として、将来の目標を設定し、自らの人生をどう設計していくかについて考える時期です。またこの時期に青少年が周囲の様々な事象に興味を持ち、知識や技能を獲得して、夢の実現へ向け意欲を持つことが成長の源となります。

ところが、青少年の意識の中に、将来への不安感や自信のなさから大人になりたいと思わない傾向が見られる、という調査結果があります。(平成19年中教審答申)

次代を担う青少年の育成に向けて、大人の役割としてまずは我々大人が青少年に範を示し、さらに青少年に向けた取組を進めることが必要となります。具体的には、身近な大人が経験や考えを青少年に語るとともに、その活動により得られた喜びや達成感を伝えることが、青少年が物事に積極的に取り組もうとする動機付けとなります。また青少年が自らも社会の一員であるという自覚を持つことにより、社会のルールやマナーが定着していきます。さらに、そのよ

うな青少年の活動を正しく評価することが、青少年の自立への意欲をさらに高め、社会性を培うこととなります。

生涯学習課においても学校教育と連携をしながら、地域、家庭の教育力を高めていくよう異年齢、異世代の交流を伴った事業を進めてまいります。

平成20年2月の中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」においては「学校・家庭・地域を結ぶ P T A 活動の充実」として、P T A 活動の重要性が述べられています。

P T A の保護者の皆さまにおかれましても、一人の大人として、青少年の自立へ向けた活動の支援に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

また、県教育委員会が平成19年度に策定した「あいちの教育に関するアクションプラン」におきましても「モラル・マナーの向上」や「情報モラルの育成」など年度ごとにテーマを設けて家庭・地域・学校の連携、協働による教育を推進しています。さらに現在、平成23年度からの新しい教育振興基本計画づくりを進めています。

県教育委員会では今後も次代を担う青少年の育成に向けた施策に取り組みでまいります。ぜひ、各家庭での御協力、御支援をお願いいたします。

「教育相談こころの電話」

クローナイ

052-261-9671

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

「教育相談こころの電話」は、青少年とその保護者を主な対象とした電話相談です。相談を通して、不安や悩みの自主的な解決を援助することを目的としています。昨年度一年間で11,085件の相談がありました。

相談を受けるのは、研修を積んだ信頼できるボランティア相談員です。名前を告げる必要はありませんので、気軽に相談できます。また、相談内容が周囲に知られることは絶対にありませんので、安心して相談できます。

午前10時から午後10時まで、いつでも相談できます。(ただし、年末年始は除きます。)

高校生からの相談

平成21年度に寄せられた高校生からの相談は、1,029件で、一般成人を除いた全体の約15%でした。最も多い相談は性に関する相談で、高校生からの相談の約27%を占めます。やはり、家族や先生には相談しにくい内容だからと思われる。

こころの電話



次に多い相談内容は、家族関係、健康や不安に関するものです。また、男女交際や友人関係に関する相談も多くありました。

高校生の保護者からの相談

平成21年度に寄せられた高校生保護者からの相談は、772件で、一般成人を除いた全体の約11%でした。

最も多い相談は子どもの性格や行動に関する相談で、高校生の保護者からの相談の約32%を占めます。次に多い相談が進路や適性となっています。

一方、小学生の保護者からは学校生活や友人に関する相談が多く、これらのことから保護者が発達段階に応じた悩みをもっていることがわかります。

面接相談

当財団では、「不登校」と「発達障害」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の仕方を学ぶ面接相談事業を実施しています。子どもの「不登校」や「発達障害」にお悩みの方は、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

教育振興課

052-242-1588

事務局だより

◎第60回全国高P連東京大会

8月20日(金)、21日(土)に「人間力を育てて作ろう 大きな輪」をテーマとし、日本武道館で約1万2千名の参加のもと開催されました。本県からは、761名の参加者がありました。20日午後の第一分科会では、豊橋商業高等学校PTA会長原田和宣氏が「学校の良きパートナーとして」を発表し好評を博しました。

来年度は北海道札幌市の北海道立総合体育センター等で8月25日(木)、26日(金)に開催されます。

◎開会式での愛知県関係表彰

- 優良PTA文部科学大臣表彰
愛知県立蒲郡東高等学校PTA
- 全国大会会長表彰(団体対象)
愛知県立春日井東高等学校PTA
- 愛知県立刈谷高等学校PTA
- 愛知県立新城高等学校PTA
- 役員等表彰(個人対象)
松山 栄司(高P連前会長)
鈴木本紀雄(高P連前事務局長)
西垣登美子(高P連前事務職員)

◎愛知県教育公務員弘済会奨励金

7月16日(金)、高P連理事会の席で瀬戸・尾西・阿久比・豊橋工業高校の各PTAに10万円が贈呈されました。

◎平成22年度

東海地区高P連愛知大会

6月18日(金)に名古屋公会堂で県内771名、全体で1600名の参加で開催されました。来年度は6月16日(木)、岐阜市の長良川国際会議場で開催されます。

◎全高P連賠償責任補償制度

愛知県では加入割合が今年度は4%増え55%になりました。平成23年度から、一人当たり掛け金が300円となります。自転車による事故の増加が背景にあります。

編集後記

「高P連だより」第76号は、各地区による全国・東海大会の報告を中心に、また今回より学校のPTA活動を中心にした学校紹介を新企画として編集いたしました。御多用の中、寄稿いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

県高P連広報委員長

蒲郡高等学校PTA副会長

榎本 実